

縁を繋ぐ
トレイルよ
いつまでも

おおた さだじ よしこ
太田 定治・芳子 さん

魚定

昭和23年・30年、岩手県普代村・久慈市生まれ。
太田名部漁港のすぐそばで「魚定」を経営。
地元産の海鮮を使った料理が自慢です。

震災当時、お店にはお客さんが2組いたのですがすぐに避難させ、自分たちも近くの神社に避難しました。漁港の灯台よりも高い津波がきて、店の屋根が目の前を流れていった光景は忘れられないですね。津波が引いた後、魚の形をしたお店の看板が「助けて」と言っているような格好で消波ブロックに乗っているのを見つけた時、もう一度お店をやろう、と強く思いました。棚のお酒の多くは震災復興で全国から来てくださったお客さんのお土産です。

トレイルが開通して変化したことは、村に来る人が増えたことですね。人が歩くことで村の雰囲気が変わりました。それにいろんな人と出会えて、知り合いになりました。トレイルが縁でお店を手伝ってくれるようになった人もいますよ。

最近は外国人が多く歩いています。立ち寄る方はスマホで翻訳してくれたり、料理の写真を見せて注文してくれたりするので、英語が使えなくても心配ないですね。以前、外のテーブルで待っていた外国人ハイカーに料理を運ぶ時、夫婦そろって転んでしまったことがあるんです。とても心配してくれて、お店にあるのに、近くの自動販売機で飲み物を買って渡してくれました。人の優しさが心に沁みた良い思い出です。

ただ、今年はクマの目撃情報が村内放送された日に外国人の方がお店にいたんですが、英語で何と言えればいいか分からず、教えてあげられなかったのが残念でした。英語を勉強しないとね。

ハイカーは増えましたが、もっと若い人が歩いてくれたら嬉しいですね。

トレイルはこれからも長く続いてほしいです。

食堂もあと2年くらいは続けたいかな。



一番の人気は磯ラーメン。あっさりしたスープはホタテ等の魚介から出汁をとったこだわりの味。普代村の海の恵みが凝縮された一品です。